

### 本に親しめるまちに スポーツ振興について

小林正樹  
(公明党)



図書館に対する市民の期待は大きい。(ア)多くの方に触れて頂けるよう図書の貸出期間、貸出冊数について他市に倣って見直さないか。(イ)市所蔵以外の本のオンライン予約を行わないか。(ウ)学校のタブレット端末でも読書が出来るよう全小中学生にこがね電子図書館(エ)公立小中学校の図書館を一般に開放しないか。

①図書館に対する市民の期待は大きい。(ア)多くの方に触れて頂けるよう図書の貸出期間、貸出冊数について他市に倣って見直さないか。(イ)市所蔵以外の本のオンライン予約を行わないか。(ウ)学校のタブレット端末でも読書が出来るよう全小中学生にこがね電子図書館(エ)公立小中学校の図書館を一般に開放しないか。

②スポーツ振興について。高架下を活用したスポーツ・レクリエーション施設を整備しないか。(イ)部活を含めた地域スポーツの在り方や、中心となる組織の構築についてもスポーツ推進協議会で検討いただくべき。

部長 (ア)市内の高架下は、大変に狭く、不向きである。教育長 (イ)そのとおり。その他、民生委員・児童委員の負担軽減による充足について取り上げました。

### 市の意思決定や議論の 場は男女比率50対50に

白井 亨  
(こがね)



女性管理職比率について、(ア)3年前にも取り上げたが、何が変わったのか。(イ)主任職と係長職の昇任試験申込率は平成29年度がピークである。実態調査を提案したが、なぜ3年もかかったのか。(ウ)なぜ女性管理職比率そのものを目標数値設定しないのか。(エ)女性管理職を外部登用してはどうか。

向準備中である。(ウ)管理職比率を上げるために昇任の対象となる係長職、その1つ下の主任職を増やす必要があり、その昇任試験の申込率が低いことが一番の課題である。(エ)外部登用の趣旨は認識しているが、それは課題解決への対応が目的であり、総合的に判断していくものと考えている。

部長 (ア)役職別に占める女性職員の割合は課長職で20%、部長職は0%であり、割合が低いのが現状で大きな課題である。(イ)この間、女性職員を対象としたキャリア研修に取り組んできた。実態調査は今年度中実施に

部長 (ア)平成15年から実施している。(イ)検査結果により保健師から連絡を入れてフォローの必要な家庭の把握に努めている。(ウ)自立生活支援窓口で手話通訳者月曜9時から13時まで



市役所管理職女性職員比率、審議会委員、女性議員比率の現状(本人作成)

部長 (ア)当該道路は、以前、スクールゾーンの指定を検討したが、地域住民の全ての方からの了承が必要

部長 (ア)1校で実施した。校長にヒアリングして相談に応じ、手引の配布や事例紹介をしている。(イ)各校の課題に対しては、指導室と生涯学習課が支援していく。提案は有意義だが、学区の見直しは早急な対応が難しいが、検討していく。(エ)文化系部活動も含め、地域人材を活用した取組をCSで検討していただきたい。

### 気候危機に対する 責任ある取組を

たゆ久貴  
(日本共産党)



気候危機と呼ぶべき異常気象が世界中で起こっている。国連は、2030年までに温室効果ガスの排出を2010年比で45%削減し、2050年までに実質ゼロを達成できないと、世界の平均気温の上昇を産業革命前に比して1.5度までに抑え込むことができないことを表明している。大気中の温室効果ガスが一定濃度を超えてしまうと「後戻り」できなくなり、悪化を止められないという破局的な事態に陥ってしまう。責任ある取組が必要である。

部長 (ア)掲げていない。(イ)2023年以降に検討を行えばと考える。その他、住宅用新エネルギー機器等普及促進補助の拡充や、公共施設での太陽光パネルの普及など省エネの更なる取組を求めました。

部長 (ア)1校で実施した。校長にヒアリングして相談に応じ、手引の配布や事例紹介をしている。(イ)各校の課題に対しては、指導室と生涯学習課が支援していく。提案は有意義だが、学区の見直しは早急な対応が難しいが、検討していく。(エ)文化系部活動も含め、地域人材を活用した取組をCSで検討していただきたい。

### 通学路の 安全対策について

宮下 誠  
(公明党)



千葉県で起きた通学路の事故を受け、国は通学路等における安全確保を緊急対策として打ち出している。(ア)第四小学校の通学路について課題を確認したい。坂下の庚申塚通りから弁天橋へ抜ける道について、朝の登校時間帯に車両通行があり、貨物車も通ることから住民より危険性が指摘されている。改善しないか。(イ)教育長がリーダーシップをとり、関係各課と連携して安全対策を進めないか。

部長 (ア)当該道路は、以前、スクールゾーンの指定を検討したが、地域住民の全ての方からの了承が必要

部長 (ア)平成15年から実施している。(イ)検査結果により保健師から連絡を入れてフォローの必要な家庭の把握に努めている。(ウ)自立生活支援窓口で手話通訳者月曜9時から13時まで

であり、実現できなかった。同校の通学路には、横断歩道が無く、車の誘導を含む見守りが必要な場所がある。こうした所では資格を持つ専門誘導員がいる事業者でなければならぬ。教育委員会とともに検討を進めるに当たり、新たな事業委託も選択の一つになる。

教育長 (イ)千葉県の事故を聞き、真つ先に思い出したのが指摘された坂下地域の道路だった。当該道路の拡幅など、根本的な解決が難しい面もあり、今後はソフト面、子どもの安全を図るために、教育委員会として各課・各機関と連携して子どもたちの安全を第一に考えた取組を推進したい。

部長 (ア)当該道路は、以前、スクールゾーンの指定を検討したが、地域住民の全ての方からの了承が必要

### 野川周辺の自然と都の 道路構造検討について

古畑俊男  
(元気！小金井)



(ア)東町五丁目から南北に通じる小金井3・4・11号線道路計画は、現在まで東京都の説明によると一案として、野川を跨ぐ橋梁方式で周知されている。その場合、恒久的に道路構造物が存在してしまつたため、道路周辺の自然環境だけではなく、地域の方々が守ってきた広範囲の動植物生態系に影響を及ぼすことになる。市街化区域にありながら、貴重な自然環境を有する小金井市において、今後どのように保全していくのか。

部長 (ア)1校で実施した。校長にヒアリングして相談に応じ、手引の配布や事例紹介をしている。(イ)各校の課題に対しては、指導室と生涯学習課が支援していく。提案は有意義だが、学区の見直しは早急な対応が難しいが、検討していく。(エ)文化系部活動も含め、地域人材を活用した取組をCSで検討していただきたい。

### 幼児教育の推進を

湯沢綾子  
(自民党・信頼)



(ア)直近の市民意向調査で、重要度が高いにもかかわらず満足度が低い問題項目とされたのが「ごみとまちの美化」「財政・財務」そして「幼児教育」である。幼児教育の重要性が広く知られるようになった今、市は市民満足度の低さを何が原因と考え、どう改善するのか。(イ)市の幼児教育の認識が幼稚園関係のみに留まっているのは問題だ。勿論幼稚園に対する支援対応はしっかりと行っていくべきだが、子育て世代にとって幼児教育は幼稚園だけを意味しない。先進市の研究はしているか。(ウ)児童館等での幼児教室の開

部長 (ア)1校で実施した。校長にヒアリングして相談に応じ、手引の配布や事例紹介をしている。(イ)各校の課題に対しては、指導室と生涯学習課が支援していく。提案は有意義だが、学区の見直しは早急な対応が難しいが、検討していく。(エ)文化系部活動も含め、地域人材を活用した取組をCSで検討していただきたい。

催は本市でも実現可能ではないか。公民館でも小学生以上を対象とする教育事業はあるが、幼児期は切れ目となつてしまつている。

部長 (ア)平成15年から実施している。(イ)検査結果により保健師から連絡を入れてフォローの必要な家庭の把握に努めている。(ウ)自立生活支援窓口で手話通訳者月曜9時から13時まで

### 「コミュニティ・スクール で部活動等の議論を

水谷たかこ  
(こがね)



全国研究大会で三鷹市の「コミュニティ・スクール(以下「CS」)からスクール・コミュニティへ」を聞いた。当市の取組を問う。(ア)研修はしているか。(イ)推進を担当する職員が必要ではないか。(ウ)将来は中学校単位でのCSが望ましいと考えるが、当市は小学校と中学校の学区にずれがある。学区見直しの進捗は。(エ)子どもにとって1年は大きい。部活動の地域移行についての議論を急いでほしい。(オ)1校当たりの予算が小平市は45万円、当市は7万8千500円であり、拡充を求める。教育長の総括的見解は。

部長 (ア)1校で実施した。校長にヒアリングして相談に応じ、手引の配布や事例紹介をしている。(イ)各校の課題に対しては、指導室と生涯学習課が支援していく。提案は有意義だが、学区の見直しは早急な対応が難しいが、検討していく。(エ)文化系部活動も含め、地域人材を活用した取組をCSで検討していただきたい。

### 聴覚障がいのある方々 への更なる支援を

遠藤百合子  
(自民党・信頼)



①聴覚障がい者の方々への支援の輪を広げていく必要がある。更なる支援の在り方について。(ア)新生児聴覚検査は、先天性聴覚難聴の早期発見、早期療養のため、生後50日以内に行う検査である。現状と今後を問う。(イ)新生児聴覚検査実施後のフォロー体制は。(ウ)聴覚障がい者へのコミュニケーション支援は。

部長 (ア)平成15年から実施している。(イ)検査結果により保健師から連絡を入れてフォローの必要な家庭の把握に努めている。(ウ)自立生活支援窓口で手話通訳者月曜9時から13時まで

部長 (ア)平成15年から実施している。(イ)検査結果により保健師から連絡を入れてフォローの必要な家庭の把握に努めている。(ウ)自立生活支援窓口で手話通訳者月曜9時から13時まで